

第2期くるめ子どもの笑顔プランの取組状況 基本目標に関する現状報告

1 【基本目標1】安心して生み 育てられる環境づくりについて

(1) 成果指標の現状値

成果指標	評価指標	基準値 (R1)	現状値			
		目標値 (R6)	R2	R3	R4	R5
子育てしやすいまちと思う人の割合	久留米市民意識調査による数値	75.0%	— (※1)	77.9%	72.5%	72.2%
		80.0%				
待機児童数	各年度4月1日時点における待機児童数	54人	65人	35人	7人	0人
		0人				

※1 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策によりアンケート調査中止。

(2) 令和2年度から5年度までの取組状況

①妊娠・出産に対する支援

コロナ禍で外出を控えたり、訪問に抵抗を感じる妊産婦の孤立化を防ぐため、支援が受け入れやすい環境づくりを行った。また、コロナ禍で社会や経済への影響がある中でも、経済的な負担軽減にも取り組みながら、安心して出産・育児ができる環境づくりに努めた。

[主な取組]

- ・妊娠出産支援特別給付金（子ども1人5万円）【R2】
- ・支援が必要な家庭への育児用品配布【R3～】
- ・新型コロナウイルス感染症対策として産後ケア実施医療機関への感染防止対策用品配布【R2～5】
- ・不安を抱える妊婦への分娩前のウイルス検査費助成【R2～5】
- ・妊娠出産応援給付金（子ども1人5万円）【R3～4】
- ・出産・子育て応援伴走型相談支援事業【R4～】
- ・出産・子育て応援給付金（妊婦1人5万円、出産した子ども1人5万円）【R4～】
- ・不育症検査費・治療費助成【R4～】
- ・マタニティ交流会【R3～】

②切れ目のない子育て支援サービスの充実

コロナ禍における子育てを取り巻く環境変化の中でも、切れ目なく子育て支援サービスが受けられる環境づくりや、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、利用者が安心・安全に使うことができる環境づくりに努めた。

また、市民が利用しやすい環境を整えることで、育児と保護者の就労の両立を図った。

[主な取組]

- ・学童保育所での長期休業期間中の開所時間前倒し【R 3～】
- ・オンライン相談や子育て支援に関する動画配信【R 3～】
- ・子育て支援拠点施設での新型コロナウイルス感染症対策【R 2～4】
- ・スマートフォンアプリ等を活用したオンライン相談【R 2～】
- ・子育て応援動画の配信【R 4～】
- ・コロナ禍で安定運営するための病児保育事業費補助の見直し【R 3～4】
- ・病児保育事業の近隣市町村との広域利用調整【R 4～】
- ・子育て短期支援事業の拡充（親子入所等支援の開始）【R 5～】

③教育・保育サービスの充実

市中央部での受け皿確保や教育・保育ニーズの分散、保育人材の確保に努め、待機児童解消を図った。また、医療的ケアが必要な児を受け入れるため、体制整備を引き続き行った。

[主な取組]

- ・小規模保育事業所（2か所）の開設【R 3～】
- ・送迎保育ステーション事業の送迎先施設拡充【R 3～】
- ・幼稚園・保育所から認定こども園への移行支援【R 2～】
- ・保育士確保のための合同就職説明会【R 4】
- ・公立保育所での医療的ケア児の受入【R 2～】
- ・市立高校生（久留米商業高校・南筑高校・三井中央高校）に対して職業としての保育士の魅力を発信する出前授業【R 5～】

④子育てに関わる経済的負担の軽減

コロナ禍や物価高騰等の影響を踏まえて、市独自の給付金や医療費の助成などを行い、子育てに関わる経済的負担の軽減に努めた。

[主な取組]

- ・子どもの笑顔給付金（1世帯3万円、子ども1人5万円）【R 3】
- ・くるめっ子応援給付金（子ども1人1万円）【R 4】
- ・子ども医療費の拡充（中学生の通院の自己負担限度額の減額）【R 3～】
- ・児童扶養手当と障害年金の子の加算部分の差額が受給できるよう制度見直し【R 3～】
- ・大雨等により被災された世帯の保育料・学童保育所利用料の減免【R 3～】
- ・病児保育利用料の無償化【R 5～】

2 【基本目標2】 子ども・子育てを支え合う地域づくり

(1) 成果指標の現状値

成果指標	評価指標	基準値 (R1)	現状値			
		目標値 (R6)	R2	R3	R4	R5
ワーク・ライフ・バランスの環境整備が進んだと思う人の割合	市政アンケートモニター「くるモニ」による数値	40.8%	— (※1)	43.1%	37.3%	58.9% (※2)
		50.0%				
子育て中の人地域で交流できる場所の数	各年度4月1日時点における設置数	42か所	42か所	42か所	42か所	42か所
		58か所				

※1 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策によりアンケート調査中止。

※2 令和5年度より調査手法を市民意識調査に変更

(2) 令和2年度から5年度までの取組状況

① 地域で子育てを支え合う活動の促進

地域や子ども・子育て支援活動に取り組む団体等と連携し、妊娠期から子育て中の保護者同士が交流する場の提供や、保護者同士が身近で気軽に相談し合う環境づくりを支援するなど、子育てを支え合う活動の支援を引き続き行った。

② 地域での交流の場や居場所づくりの推進

コロナ禍が長期化し、対面での交流が難しい中でも、新型コロナ感染症拡大防止対策を行い、妊娠期から子育て中の保護者同士の交流の場を継続的に提供し、子育て家庭の孤立防止を図った。

[主な取組]

- ・ひとり親家庭等の子どもの育み支援事業を全市域に拡充【R4～】
- ・子育て支援拠点施設での新型コロナウイルス感染症対策【R2～4】(再掲)
- ・マタニティ交流会【R3～】(再掲)

③ 子育てと仕事の両立の促進

市内企業を対象に、働き方改革や両立支援などについて啓発するためのセミナーを開催し、誰もが働きやすい職場環境づくりへの理解促進を図った。また、DX(デジタルトランスフォーメーション)の啓発・人材育成等のための講座を実施し、多様な働き方とともに新しい価値を創出する企業への転換に向けた企業意識の変革に取り組んだ。

[主な取組]

- ・ワーク・ライフ・バランス促進のためのセミナー【R2～R5】
- ・DXの啓発・人材育成等のための講座【R3～R4】

④結婚や子育てに関する啓発の強化

子育て中の保護者等が必要な情報を入手しやすい環境整備を行った。また、若い世代が仕事や結婚・子育てなどのライフプランを考える機会を提供するセミナーを開催し、引き続き結婚や子育てに対する意識向上を図った。

少子化対策の一環として、結婚を希望する若い世代の出会いの場の提供や住居に関する経済的支援を行った。

[主な取組]

- ・市公式HPの子ども・子育てページのリニューアル【R3～】
- ・公式フェイスブックでの情報発信【R4～】
- ・若い世代を対象としたライフプランセミナー【R2～3】
- ・魅力アップセミナー・出会い応援イベント【R5～】
- ・結婚新生活支援補助金【R5～】

3 【基本目標3】 子どもの健やかな育ちを保障できる社会づくり

(1) 成果指標の現状値

成果指標	評価指標	基準値 (R1)	現状値			
		目標値 (R6)	R2	R3	R4	R5
自分にはよいところがあると思う児童の割合	教育委員会が毎年度6月に実施する久留米市学力実態調査による数値	小学6年 ▲3.8% (市 77.4% - 全国 81.2%)	— (※2)	▲5.9% (71.0% -76.9%)	▲4.5% (74.8% -79.3%)	▲6.4% (77.1% -83.5%)
		中学3年 ▲6.3% (市 67.8% - 全国 74.1%)	— (※2)	▲5.1% (%71.1 -76.2%)	▲4.3% (74.2% -78.5%)	▲0.6% (79.4% -80.0%)
		小中学校ともに 全国平均以上				
子どものいる生活困難世帯の割合	子どもの生活実態調査による数値 (※1)	22.1%	—	—	—	—
		19.6%	(※3)	(※3)	(※3)	(※3)

※1 基準値は平成29年度。

※2 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により市及び全国の学力生活実態調査中止。

※3 久留米市子どもの生活実態調査は令和6年度実施。

(2) 令和2年度から5年度までの取組状況

①きめ細かな配慮を必要とする子育て家庭への支援

多胎妊婦・多胎児、ひとり親家庭、発達に課題がある子ども、障害児、外国人など、孤立したり、支援が届きにくかったりする家庭に対して、コロナ禍においても継続して支援に努めた。

[主な取組]

- ・多胎児の子育て世帯への健診等サポートを実施【R2～】
- ・多胎妊婦の妊婦健康診査回数の上乗せ【R3～】
- ・ひとり親家庭の集中相談会の実施【R4～】
- ・養育費の取り決めに関するセミナーや個別相談会【R4～】
- ・多胎妊産婦マイサポーター事業の実施【R5～】
- ・ひとり親サポートセンターの相談体制の拡充（養育費相談、

LINE相談)【R4～、R5～】

- ・幼児教育研究所での療育や個別訓練の継続実施【R2～】
- ・短期入所・レスパイト事業での医療的ケア児への利用拡大【R4～】
- ・外国人の妊娠・出産に係る手続での多言語対応【R4～】

②子どもの貧困対策の推進

コロナ禍でより困難な状況に置かれた生活困窮世帯等に対して、食事の提供や経済的支援などを継続的に取り組んだ。

[主な取組]

- ・子ども食堂への補助金の制度拡充（試行的実施への補助、補助単価の増額）【R4～】
- ・ひとり親家庭等の子どもの育み支援事業を全市域に拡充【R4～】（再掲）
- ・スクールソーシャルワーカー拠点校配置（モデル事業）【R3～】
- ・低所得の子育て世帯への給付金【R4～】
- ・養育費確保支援事業【R3～】

③児童虐待の防止

要保護児童対策地域協議会において、支援対象児童等の早期発見や適切な保護・支援、並びに関係する機関の連携による組織的・効果的な対応を図るため、必要な情報の交換を行うとともに支援対象児童等に対する支援内容の協議及び検討等を行った。

子どもの権利について学び、子どもが自ら相談する力の育成を図ることを目的に小学校等で子どもワークショップを実施、併せて教職員にも研修を実施し、多様化・複雑化する児童虐待問題への対応及び未然防止に取り組んだ。

また、育児用品等の配布をきっかけに相談・支援につながりやすい関係性を作り、児童虐待の未然防止を図った。

[主な取組]

- ・子どもの権利等啓発事業【R3～】
- ・支援対象児童等見守り強化事業【R2～】
- ・子育て支援訪問事業【R4～】
- ・養育環境改善家事援助事業の拡充（支援内容及び対象者の拡充）【R5～】
- ・子どもの権利等に関する地域向け研修の実施【R3～】
- ・支援が必要な家庭への育児用品配布【R3～】（再掲）

④困りごとを抱える子どもへの支援

コロナ禍での環境変化により、子どもの様々な困りごとの解決に向け、困り感を抱えている子どもの早期発見、早期対応を行った。併せて、SOSの出し方等を学ぶ取組も実施した。

また、子どもや若者自身が抱える様々な困りごとの解決に向け、相談窓口を設置し、支援に取り組んだ。

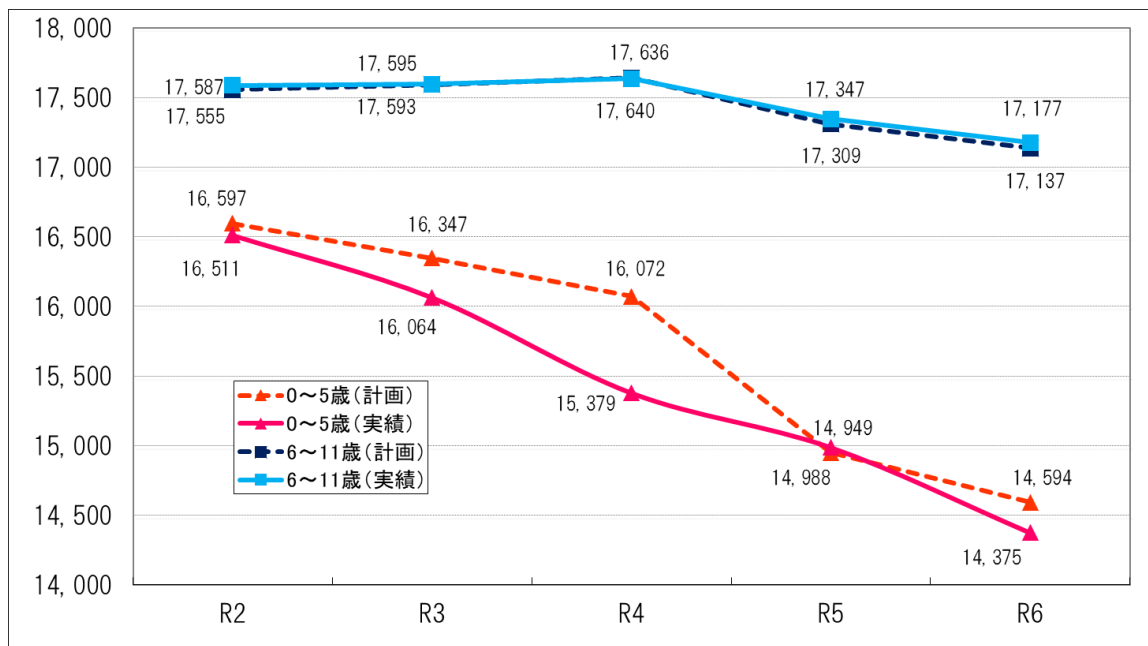
[主な取組]

- ・委託によるスクールカウンセラーの増員【R 3～】
- ・SOSの出し方教育の実施【R 3～】
- ・保護者等を対象とした子育て応援動画の配信【R 4～】
- ・スクールソーシャルワーカー拠点校配置（モデル事業）【R 3～】
- ・ヤングケアラー相談・支援窓口の設置【R 4～】
- ・若者相談窓口の設置【R 4～】

就学前児童・小学生児童の人口推計と実績

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1	推計	実績
	実績	実績	実績	実績	実績		
0歳	2,651	2,579	2,367	2,289	2,242	2,359	2,147
1歳	2,719	2,686	2,661	2,381	2,354	2,279	2,245
2歳	2,673	2,720	2,683	2,626	2,369	2,316	2,352
3歳	2,926	2,689	2,747	2,661	2,631	2,366	2,359
4歳	2,922	2,922	2,686	2,732	2,653	2,620	2,634
5歳	2,985	2,915	2,920	2,690	2,739	2,654	2,638
0～5歳	16,876	16,511	16,064	15,379	14,988	14,594	14,375
6歳	2,915	2,963	2,897	2,891	2,684	2,711	2,734
7歳	2,886	2,930	2,999	2,902	2,884	2,688	2,678
8歳	3,005	2,897	2,923	2,988	2,915	2,903	2,892
9歳	2,874	3,018	2,899	2,940	3,006	2,903	2,910
10歳	2,888	2,872	3,014	2,904	2,944	2,998	3,007
11歳	2,835	2,907	2,863	3,011	2,914	2,934	2,956
6～11歳	17,403	17,587	17,595	17,636	17,347	17,137	17,177
合計	34,279	34,098	33,659	33,015	32,335	31,731	31,552

※各年 4 月 1 日現在



※R 4 年度に行った笑顔プラン中間期の見直しにおいて、近年の少子化の傾向を踏まえ、R 5 以降の人口推計を見直しています。

《参考》

●出生数 (住民基本台帳出生数)

年度	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
出生数 (人)	2,676	2,412	2,373	2,299	2,188
前年度比 (%)	▲2.4	▲9.9	▲1.6	▲3.1	▲4.8

教育・保育事業実施状況

1 これまでの取組結果

- 本計画期間中のコロナ禍における出生数の減少に伴い、特に0～2歳児の保育のニーズ量（量の見込み）が減少した。一方で、保育の対応策（定員数）は増加し、令和5年4月1日、待機児童数は0となり、令和6年度もこの状況を維持している。
- 保育の対応策の増加は、計画期間中に進めてきた保育所の施設整備や、小規模保育事業の新設（R3 2施設）、及び認定こども園への移行支援（R2～14施設）による成果。
- 区域ごとの需給バランスの地域間是正を図るため、平成31年度に開始した送迎保育ステーション事業は、本計画期間中に送迎先施設を増加する等、充実を図り、一定の成果を得ることができた。
- 保育士不足により定員まで園児を受け入れることができない施設（中央部が顕著）への対応として、国の制度を利用した保育士等の処遇改善のほか、潜在保育士支援給付金事業や奨学金返済支援事業等に取り組むとともに、市内保育施設等で働く保育士を増やすため関係団体と連携して合同就職説明会や高等学校での出前授業等に取り組んだ。

認定	年齢	保育の必要	結果
1号認定		なし	ニーズ量・対応策（＝定員数）共に減少。全ての区域で充足。
2号認定	満3歳以上	あり	利用申込率は年々増加しており一部地域に不足が生じている。しかし対応策（＝定員数）の増加により、市全体では充足。定員に空きがある施設がある一方、入所保留児童が存在しておりアンマッチが生じている。
3号認定	0歳	あり	ニーズ量が減少。対応策（＝定員数）は微減したがニーズ量減少の影響で不足は減少。入所保留児童数も減少。
	1～2歳		ニーズ量は減少。対応策（＝定員数）が増加しており、昨年度と比較して入所保留児童が減少。

（※くるめ子どもの笑顔プランは毎年度3月末の数値にて検証）

教育・保育事業の実績(令和5年度)

資料 3-1-3
別紙1

市全体

		1号		2号		3号			
						0歳	1・2歳	0歳	1・2歳
		R4	R5	R4	R5	R4		R5	
量の見込み	計画	2,695	2,672	5,015	4,973	1,315	3,223	1,285	3,023
	実績	2,721	2,690	5,037	5,184	1,395	3,303	1,277	3,163
対応策	計画	3,919	3,635	5,497	5,528	1,023	3,433	1,033	3,482
	実績	3,893	3,535	5,568	5,681	1,020	3,375	1,011	3,440
過不足	計画	1,224	963	482	555	▲ 292	210	▲ 252	459
	実績	1,172	845	531	497	▲ 375	72	▲ 266	277

量の見込み(実績)…1号は利用者数 2・3号は施設の利用希望者数
対応策(実績)…1・2・3号とも施設の定員数

			R4	R5
1号認定のうち 預かり保育を利用	量の見込み	計画	968	960
		実績	1,094	1,242
	対応策	計画	1,188	1,152
		実績	1,224	1,289
	過不足	計画	220	192
		実績	130	47

量の見込み(実績)…利用者数 対応策(実績)…登録者数

東部 (山本・草野・善導寺・大橋・船越・水縄・田主丸・水分・竹野・川会・柴刈)

		1号		2号		3号			
						0歳	1・2歳	0歳	1・2歳
		R4	R5	R4	R5	R4		R5	
量の見込み	計画	119	118	682	676	133	367	130	344
	実績	107	110	652	663	147	411	108	380
対応策	計画	180	187	714	706	89	349	94	354
	実績	180	187	758	742	82	324	87	323
過不足	計画	61	69	32	30	▲ 44	▲ 18	▲ 36	10
	実績	73	77	106	79	▲ 65	▲ 87	▲ 21	▲ 57

			R4	R5
1号認定のうち 預かり保育を利用	量の見込み	計画	40	40
		実績	38	44
	対応策	計画	54	57
		実績	45	47
	過不足	計画	14	17
		実績	7	3

北部 (宮ノ陣・弓削・北野・大城・金島)

		1号		2号		3号			
						0歳	1・2歳	0歳	1・2歳
		R4	R5	R4	R5	R4		R5	
量の見込み	計画	148	147	532	527	128	348	125	327
	実績	154	158	543	536	134	330	145	327
対応策	計画	294	294	525	515	76	330	76	326
	実績	294	274	521	534	87	325	83	319
過不足	計画	146	147	▲ 7	▲ 12	▲ 52	▲ 18	▲ 49	▲ 1
	実績	140	116	▲ 22	▲ 2	▲ 47	▲ 5	▲ 62	▲ 8

			R4	R5
1号認定のうち 預かり保育を利用	量の見込み	計画	49	49
		実績	71	87
	対応策	計画	60	60
		実績	78	91
	過不足	計画	11	11
		実績	7	4

中央部 (西国分・荘島・日吉・篠山・京町・南薫・鳥飼・長門石・小森野・金丸)

		1号		2号		3号			
						0歳	1・2歳	0歳	1・2歳
		R4	R5	R4	R5	R4		R5	
量の見込み	計画	916	907	1,403	1,393	411	932	402	873
	実績	929	897	1,431	1,477	439	978	398	908
対応策	計画	1,335	1,179	1,555	1,576	347	1,080	347	1,084
	実績	1,335	1,179	1,614	1,660	346	1,097	334	1,102
過不足	計画	419	272	152	183	▲ 64	148	▲ 55	211
	実績	406	282	183	183	▲ 93	119	▲ 64	194

			R4	R5
1号認定のうち 預かり保育を利用	量の見込み	計画	294	292
		実績	320	389
	対応策	計画	374	371
		実績	352	404
	過不足	計画	80	79
		実績	32	15

中央東部 (東国分・御井・合川・山川)

		1号		2号		3号			
						0歳	1・2歳	0歳	1・2歳
		R4	R5	R4	R5	R4		R5	
量の見込み	計画	501	497	627	622	191	445	186	417
	実績	526	501	609	664	195	446	152	440
対応策	計画	665	665	700	700	130	449	130	452
	実績	665	596	664	703	150	446	137	462
過不足	計画	164	168	73	78	▲ 61	4	▲ 56	35
	実績	139	95	55	39	▲ 45	0	▲ 15	22

			R4	R5
1号認定のうち 預かり保育を利用	量の見込み	計画	200	198
		実績	229	212
	対応策	計画	223	223
		実績	241	215
	過不足	計画	23	25
		実績	12	3

中央南部 (上津・高良内・青峰)

		1号		2号		3号			
						0歳	1・2歳	0歳	1・2歳
		R4	R5	R4	R5	R4		R5	
量の見込み	計画	224	222	366	363	118	258	116	242
	実績	212	176	386	442	105	244	135	277
対応策	計画	375	228	394	439	66	252	69	290
	実績	375	228	395	439	75	249	78	283
過不足	計画	151	6	28	76	▲ 52	▲ 6	▲ 47	48
	実績	163	52	9	▲ 3	▲ 30	5	▲ 57	6

			R4	R5
1号認定のうち 預かり保育を利用	量の見込み	計画	68	67
		実績	87	74
	対応策	計画	108	73
		実績	91	74
	過不足	計画	40	6
		実績	4	0

中央西部 (南・津福・安武・荒木・大善寺)

		1号		2号		3号			
						0歳	1・2歳	0歳	1・2歳
		R4	R5	R4	R5	R4		R5	
量の見込み	計画	685	679	868	860	226	556	221	522
	実績	681	705	883	880	260	561	215	551
対応策	計画	910	922	946	934	227	590	229	592
	実績	884	896	945	936	189	557	197	578
過不足	計画	225	243	78	74	1	34	8	70
	実績	203	191	62	56	▲ 71	▲ 4	▲ 18	27

			R4	R5
1号認定のうち 預かり保育を利用	量の見込み	計画	275	273
		実績	297	355
	対応策	計画	322	320
		実績	362	375
	過不足	計画	47	47
		実績	65	20

南西部 (城島・下田・江上・青木・浮島・西牟田・犬塚・三瀧)

		1号		2号		3号			
						0歳	1・2歳	0歳	1・2歳
		R4	R5	R4	R5	R4		R5	
量の見込み	計画	102	102	537	532	108	317	105	298
	実績	112	143	533	522	115	333	124	280
対応策	計画	160	160	663	658	88	383	88	384
	実績	160	175	671	667	91	377	95	373
過不足	計画	58	58	126	126	▲ 20	66	▲ 17	86
	実績	48	32	138	145	▲ 24	44	▲ 29	93

			R4	R5
1号認定のうち 預かり保育を利用	量の見込み	計画	41	41
		実績	52	81
	対応策	計画	48	48
		実績	55	83
	過不足	計画	7	sa
		実績	3	2

【参考】待機児童数の推移(毎年度4月1日時点)

	東部	北部	中央部	中央東部	中央南部	中央西部	南西部	合計
令和2年度	0	3	26	13	5	16	2	65
令和3年度	2	2	16	8	0	7	0	35
令和4年度	0	0	3	1	3	0	0	7
令和5年度	0	0	0	0	0	0	0	0
令和6年度	0	0	0	0	0	0	0	0

教育・保育事業の実績(区域別推移)

資料 3-1-3
別紙2

市全体

		R2		R3		R4		R5		R6		
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
1号 3~5歳	量の見込み(A)	3,183	3,004	3,065	2,873	2,968	2,721	2,672	2,690	2,547	0	
	対応策(B)	4,241	4,085	4,210	4,050	4,208	3,893	3,635	3,535	3,654	0	
	B-A	1,058	1,081	1,145	1,177	1,240	1,172	963	845	1,107	0	
2号 3~5歳	量の見込み(A)	5,095	5,149	4,996	5,090	4,852	5,037	4,973	5,184	4,740	0	
	対応策(B)	5,514	5,328	5,598	5,421	5,599	5,568	5,528	5,681	5,514	0	
	B-A	419	179	602	331	747	531	555	497	774	0	
3号	0歳	量の見込み(A)	1,426	1,438	1,448	1,367	1,454	1,395	1,285	1,277	1,355	0
		対応策(B)	983	1,000	998	1,016	1,001	1,020	1,033	1,011	1,033	0
		B-A	▲ 443	▲ 438	▲ 450	▲ 351	▲ 453	▲ 375	▲ 252	▲ 266	▲ 322	0
	1・2歳	量の見込み(A)	3,544	3,396	3,604	3,418	3,618	3,303	3,023	3,163	2,958	0
		対応策(B)	3,337	3,305	3,378	3,316	3,383	3,375	3,482	3,440	3,487	0
		B-A	▲ 207	▲ 91	▲ 226	▲ 102	▲ 235	72	459	277	529	0

東部

		R2		R3		R4		R5		R6		
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
1号 3~5歳	量の見込み(A)	179	135	179	126	119	107	118	110	112		
	対応策(B)	181	180	181	180	180	180	187	187	187		
	B-A	2	45	2	54	61	73	69	77	75	0	
2号 3~5歳	量の見込み(A)	691	680	690	684	682	652	676	663	645		
	対応策(B)	699	686	723	688	714	758	706	742	711		
	B-A	8	6	33	4	32	106	30	79	66	0	
3号	0歳	量の見込み(A)	157	157	160	140	133	147	130	108	137	
		対応策(B)	102	87	107	87	89	82	94	87	94	
		B-A	▲ 55	▲ 70	▲ 53	▲ 53	▲ 44	▲ 65	▲ 36	▲ 21	▲ 43	0
	1・2歳	量の見込み(A)	388	377	388	398	367	411	344	380	336	
		対応策(B)	342	341	342	340	349	324	354	323	359	
		B-A	▲ 46	▲ 36	▲ 46	▲ 58	▲ 18	▲ 87	10	▲ 57	23	0

北部

		R2		R3		R4		R5		R6		
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
1号 3~5歳	量の見込み(A)	201	153	190	155	148	154	147	158	140		
	対応策(B)	315	300	315	320	294	294	294	274	294		
	B-A	114	147	125	165	146	140	147	116	154	0	
2号 3~5歳	量の見込み(A)	558	574	547	543	532	543	527	536	502		
	対応策(B)	524	515	537	515	525	521	515	534	515		
	B-A	▲ 34	▲ 59	▲ 10	▲ 28	▲ 7	▲ 22	▲ 12	▲ 2	13	0	
3号	0歳	量の見込み(A)	167	135	172	132	128	134	125	145	131	
		対応策(B)	72	76	74	79	76	87	76	83	76	
		B-A	▲ 95	▲ 59	▲ 98	▲ 53	▲ 52	▲ 47	▲ 49	▲ 62	▲ 55	0
	1・2歳	量の見込み(A)	411	371	427	365	348	330	327	327	320	
		対応策(B)	317	329	322	327	330	325	326	319	326	
		B-A	▲ 94	▲ 42	▲ 105	▲ 38	▲ 18	▲ 5	▲ 1	▲ 8	6	0

中央部

		R2		R3		R4		R5		R6		
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
1号 3~5歳	量の見込み(A)	1,144	1,003	1,106	971	916	929	907	897	866		
	対応策(B)	1,612	1,410	1,612	1,385	1,335	1,335	1,179	1,179	1,179		
	B-A	468	407	506	414	419	406	272	282	313	0	
2号 3~5歳	量の見込み(A)	1,607	1,435	1,595	1,433	1,403	1,431	1,393	1,477	1,327		
	対応策(B)	1,628	1,516	1,628	1,543	1,555	1,614	1,576	1,660	1,576		
	B-A	21	81	33	110	152	183	183	183	249	0	
3号	0歳	量の見込み(A)	450	455	451	431	411	439	402	398	425	
		対応策(B)	330	312	331	332	347	346	347	334	347	
		B-A	▲ 120	▲ 143	▲ 120	▲ 99	▲ 64	▲ 93	▲ 55	▲ 64	▲ 78	0
	1・2歳	量の見込み(A)	1,116	1,008	1,119	988	932	978	873	908	855	
		対応策(B)	1,030	996	1,029	1,021	1,080	1,097	1,084	1,102	1,084	
		B-A	▲ 86	▲ 12	▲ 90	33	148	119	211	194	229	0

中央東部

		R2		R3		R4		R5		R6		
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
1号 3~5歳	量の見込み(A)	476	517	449	526	501	526	497	501	474		
	対応策(B)	571	695	526	665	665	665	665	596	665		
	B-A	95	178	77	139	164	139	168	95	191	0	
2号 3~5歳	量の見込み(A)	544	644	513	631	627	609	622	664	593		
	対応策(B)	626	652	659	699	700	664	700	703	700		
	B-A	82	8	146	68	73	55	78	39	107	0	
3号	0歳	量の見込み(A)	184	218	194	199	191	195	186	152	196	
		対応策(B)	128	127	135	129	130	150	130	137	130	
		B-A	▲ 56	▲ 91	▲ 59	▲ 70	▲ 61	▲ 45	▲ 56	▲ 15	▲ 66	0
	1・2歳	量の見込み(A)	478	470	482	476	445	446	417	440	408	
		対応策(B)	437	412	457	421	449	446	452	462	452	
		B-A	▲ 41	▲ 58	▲ 25	▲ 55	4	0	35	22	44	0

中央南部

		R2		R3		R4		R5		R6		
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
1号 3~5歳	量の見込み(A)	236	315	219	256	224	212	222	176	211		
	対応策(B)	450	375	450	375	375	375	228	228	228		
	B-A	214	60	231	119	151	163	6	52	17	0	
2号 3~5歳	量の見込み(A)	369	372	355	369	366	386	363	442	346		
	対応策(B)	456	391	455	387	394	395	439	439	439		
	B-A	87	19	100	18	28	9	76	▲ 3	93	0	
3号	0歳	量の見込み(A)	108	111	112	119	118	105	116	135	122	
		対応策(B)	79	66	79	70	66	75	69	78	69	
		B-A	▲ 29	▲ 45	▲ 33	▲ 49	▲ 52	▲ 30	▲ 47	▲ 57	▲ 53	0
	1・2歳	量の見込み(A)	265	251	277	263	258	244	242	277	237	
		対応策(B)	266	253	266	243	252	249	290	283	290	
		B-A	1	2	▲ 11	▲ 20	▲ 6	5	48	6	53	0

中央西部

		R2		R3		R4		R5		R6		
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
1号 3~5歳	量の見込み(A)	785	763	768	730	685	681	679	705	647		
	対応策(B)	919	955	935	955	910	884	922	896	933		
	B-A	134	192	167	225	225	203	243	191	286	0	
2号 3~5歳	量の見込み(A)	744	891	728	889	868	883	860	880	820		
	対応策(B)	895	935	910	941	946	945	934	936	923		
	B-A	151	44	182	52	78	62	74	56	103	0	
3号	0歳	量の見込み(A)	218	229	218	236	226	260	221	215	233	
		対応策(B)	183	225	183	224	227	189	229	197	229	
		B-A	▲ 35	▲ 4	▲ 35	▲ 12	1	▲ 71	8	▲ 18	▲ 4	0
	1・2歳	量の見込み(A)	538	587	540	589	556	561	522	551	511	
		対応策(B)	565	582	565	586	590	557	592	578	592	
		B-A	27	▲ 5	25	▲ 3	34	▲ 4	70	27	81	0

南西部

		R2		R3		R4		R5		R6		
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
1号 3~5歳	量の見込み(A)	162	114	154	109	102	112	102	143	97		
	対応策(B)	193	170	191	170	160	160	160	175	168		
	B-A	31	56	37	61	58	48	58	32	71	0	
2号 3~5歳	量の見込み(A)	582	553	568	541	537	533	532	522	507		
	対応策(B)	686	633	686	648	663	671	658	667	650		
	B-A	104	80	118	107	126	138	126	145	143	0	
3号	0歳	量の見込み(A)	142	133	141	110	108	115	105	124	111	
		対応策(B)	89	107	89	95	88	91	88	95	88	
		B-A	▲ 53	▲ 26	▲ 52	▲ 15	▲ 20	▲ 24	▲ 17	▲ 29	▲ 23	0
	1・2歳	量の見込み(A)	348	332	361	339	317	333	298	280	291	
		対応策(B)	380	392	380	378	383	377	384	373	384	
		B-A	32	60	19	39	66	44	86	93	93	0

定員・受入枠の状況(区域別・3か年)

資料 3-1-3
別紙3

※年度末状況
※認可保育施設のみカウント

東部

年度末状況)		年度	定員 A	受入枠 B	定員比較 B-A	申込数 C	利用児童 D	保留児童 E	定員割れ D-A	利用 決定率 D/C	定員の 過不足 A-C	枠の 過不足 B-C
2号	3歳～ 5歳	R3年度	665	679	14	684	679	5	14	1.0	▲ 19	▲ 5
		R4年度	729	646	▲ 83	650	644	6	▲ 85	1.0	79	▲ 4
		R5年度	722	654	▲ 68	661	654	7	▲ 68	1.0	61	▲ 7
3号	0歳	R3年度	86	103	17	140	103	37	17	0.7	▲ 54	▲ 37
		R4年度	81	106	25	147	106	41	25	0.7	▲ 66	▲ 41
		R5年度	85	81	▲ 4	107	81	26	▲ 4	0.8	▲ 22	▲ 26
	1・2歳	R3年度	334	387	53	398	387	11	53	1.0	▲ 64	▲ 11
		R4年度	315	395	80	410	395	15	80	1.0	▲ 95	▲ 15
		R5年度	318	369	51	380	368	12	50	1.0	▲ 62	▲ 11
		R3年度	1,085	1,169	84	1,222	1,169	53	84	1.0	▲ 137	▲ 53
		R4年度	1,125	1,147	22	1,207	1,145	62	20	0.9	▲ 82	▲ 60
		R5年度	1,125	1,104	▲ 21	1,148	1,103	45	▲ 22	1.0	▲ 23	▲ 44

北部

認定区分		年度	定員 A	受入枠 B	定員比較 B-A	申込数 C	利用児童 D	保留児童 E	定員割れ D-A	利用 決定率 D/C	定員の 過不足 A-C	枠の 過不足 B-C
2号	3歳～ 5歳	R3年度	514	530	16	543	530	13	16	1.0	▲ 29	▲ 13
		R4年度	519	536	17	540	532	8	13	1.0	▲ 21	▲ 4
		R5年度	533	531	▲ 2	535	530	5	▲ 3	1.0	▲ 2	▲ 4
3号	0歳	R3年度	82	97	15	132	96	36	14	0.7	▲ 50	▲ 35
		R4年度	90	110	20	139	109	30	19	0.8	▲ 49	▲ 29
		R5年度	95	116	21	145	116	29	21	0.8	▲ 50	▲ 29
	1・2歳	R3年度	336	340	4	365	340	25	4	0.9	▲ 29	▲ 25
		R4年度	330	322	▲ 8	332	319	13	▲ 11	1.0	▲ 2	▲ 10
		R5年度	341	322	▲ 19	327	320	7	▲ 21	1.0	14	▲ 5
		R3年度	932	967	35	1,040	966	74	34	0.9	▲ 108	▲ 73
		R4年度	939	968	29	1,011	960	51	21	0.9	▲ 72	▲ 43
		R5年度	969	969	0	1,007	966	41	▲ 3	1.0	▲ 38	▲ 38

中央部

認定区分		年度	定員 A	受入枠 B	定員比較 B-A	申込数 C	利用児童 D	保留児童 E	定員割れ D-A	利用 決定率 D/C	定員の 過不足 A-C	枠の 過不足 B-C
2号	3歳～ 5歳	R3年度	1,442	1,417	▲ 25	1,433	1,409	24	▲ 33	1.0	9	▲ 16
		R4年度	1,481	1,396	▲ 85	1,426	1,395	31	▲ 86	1.0	55	▲ 30
		R5年度	1,502	1,421	▲ 81	1,466	1,421	45	▲ 81	1.0	36	▲ 45
3号	0歳	R3年度	288	259	▲ 29	431	257	174	▲ 31	0.6	▲ 143	▲ 172
		R4年度	280	267	▲ 13	440	267	173	▲ 13	0.6	▲ 160	▲ 173
		R5年度	287	271	▲ 16	396	269	127	▲ 18	0.7	▲ 109	▲ 125
	1・2歳	R3年度	925	889	▲ 36	988	887	101	▲ 38	0.9	▲ 63	▲ 99
		R4年度	946	893	▲ 53	979	891	88	▲ 55	0.9	▲ 33	▲ 86
		R5年度	962	838	▲ 124	905	837	68	▲ 125	0.9	57	▲ 67
		R3年度	2,655	2,565	▲ 90	2,852	2,553	299	▲ 102	0.9	▲ 197	▲ 287
		R4年度	2,751	2,556	▲ 195	2,845	2,553	292	▲ 198	0.9	▲ 94	▲ 289
		R5年度	2,751	2,530	▲ 221	2,767	2,527	240	▲ 224	0.9	▲ 16	▲ 237

中央東部

認定区分		年度	定員 A	受入枠 B	定員比較 B-A	申込数 C	利用児童 D	保留児童 E	定員割れ D-A	利用 決定率 D/C	定員の 過不足 A-C	枠の 過不足 B-C
2号	3歳～ 5歳	R3年度	674	610	▲ 64	631	610	21	▲ 64	1.0	43	▲ 21
		R4年度	646	594	▲ 52	608	594	14	▲ 52	1.0	38	▲ 14
		R5年度	689	655	▲ 34	663	654	9	▲ 35	1.0	26	▲ 8
3号	0歳	R3年度	119	112	▲ 10	199	109	90	▲ 10	0.5	▲ 80	▲ 90
		R4年度	139	110	▲ 29	192	110	82	▲ 29	0.6	▲ 53	▲ 82
		R5年度	129	101	▲ 28	151	101	50	▲ 28	0.7	▲ 22	▲ 50
	1・2歳	R3年度	397	440	30	476	427	49	30	0.9	▲ 79	▲ 49
		R4年度	425	414	▲ 11	445	414	31	▲ 11	0.9	▲ 20	▲ 31
		R5年度	446	410	▲ 36	439	409	30	▲ 37	0.9	7	▲ 29
		R3年度	1,190	1,162	▲ 28	1,306	1,146	160	▲ 44	0.9	▲ 116	▲ 144
		R4年度	1,210	1,118	▲ 92	1,245	1,118	127	▲ 92	0.9	▲ 35	▲ 127
		R5年度	1,264	1,166	▲ 98	1,253	1,164	89	▲ 100	0.9	11	▲ 87

中央南部

認定区分		年度	定員 A	受入枠 B	定員比較 B-A	申込数 C	利用児童 D	保留児童 E	定員割れ D-A	利用 決定率 D/C	定員の 過不足 A-C	枠の 過不足 B-C
2号	3歳～ 5歳	R3年度	381	367	▲ 14	369	364	5	▲ 17	1.0	12	▲ 2
		R4年度	383	375	▲ 8	385	374	11	▲ 9	1.0	▲ 2	▲ 10
		R5年度	412	418	6	441	418	23	6	0.9	▲ 29	▲ 23
3号	0歳	R3年度	65	66	1	119	66	53	1	0.6	▲ 54	▲ 53
		R4年度	71	63	▲ 8	104	62	42	▲ 9	0.6	▲ 33	▲ 41
		R5年度	73	71	▲ 2	134	71	63	▲ 2	0.5	▲ 61	▲ 63
	1・2歳	R3年度	246	246	0	263	245	18	▲ 1	0.9	▲ 17	▲ 17
		R4年度	238	240	2	244	236	8	▲ 2	1.0	▲ 6	▲ 4
		R5年度	274	256	▲ 18	275	255	20	▲ 19	0.9	▲ 1	▲ 19
		R3年度	692	679	▲ 13	751	675	76	▲ 17	0.9	▲ 59	▲ 72
		R4年度	692	678	▲ 14	733	672	61	▲ 20	0.9	▲ 41	▲ 55
		R5年度	759	745	▲ 14	850	744	106	▲ 15	0.9	▲ 91	▲ 105

中央西部

認定区分		年度	定員 A	受入枠 B	定員比較 B-A	申込数 C	利用児童 D	保留児童 E	定員割れ D-A	利用 決定率 D/C	定員の 過不足 A-C	枠の 過不足 B-C
2号	3歳～ 5歳	R3年度	880	873	▲ 7	889	871	18	▲ 9	1.0	▲ 9	▲ 16
		R4年度	922	869	▲ 53	879	869	10	▲ 53	1.0	43	▲ 10
		R5年度	910	871	▲ 39	878	866	12	▲ 44	1.0	32	▲ 7
3号	0歳	R3年度	187	157	▲ 30	236	156	80	▲ 31	0.7	▲ 49	▲ 79
		R4年度	169	160	▲ 9	262	160	102	▲ 9	0.6	▲ 93	▲ 102
		R5年度	171	155	▲ 16	213	155	58	▲ 16	0.7	▲ 42	▲ 58
	1・2歳	R3年度	523	555	32	589	552	37	29	0.9	▲ 66	▲ 34
		R4年度	519	537	18	562	537	25	18	1.0	▲ 43	▲ 25
		R5年度	520	528	8	544	524	20	4	1.0	▲ 24	▲ 16
		R3年度	1,590	1,585	▲ 5	1,714	1,579	135	▲ 11	0.9	▲ 124	▲ 129
		R4年度	1,610	1,566	▲ 44	1,703	1,566	137	▲ 44	0.9	▲ 93	▲ 137
		R5年度	1,601	1,554	▲ 47	1,635	1,545	90	▲ 56	0.9	▲ 34	▲ 81

南西部

認定区分		年度	定員 A	受入枠 B	定員比較 B-A	申込数 C	利用児童 D	保留児童 E	定員割れ D-A	利用 決定率 D/C	定員の 過不足 A-C	枠の 過不足 B-C
2号	3歳～ 5歳	R3年度	578	537	▲ 41	541	537	4	▲ 41	1.0	37	▲ 4
		R4年度	603	518	▲ 85	521	516	5	▲ 87	1.0	82	▲ 3
		R5年度	603	512	▲ 91	514	511	3	▲ 92	1.0	89	▲ 2
3号	0歳	R3年度	90	80	▲ 10	110	78	32	▲ 12	0.7	▲ 20	▲ 30
		R4年度	86	73	▲ 13	113	73	40	▲ 13	0.6	▲ 27	▲ 40
		R5年度	86	95	9	118	93	25	7	0.8	▲ 32	▲ 23
	1・2歳	R3年度	352	336	▲ 16	339	327	12	▲ 25	1.0	13	▲ 3
		R4年度	351	326	▲ 25	327	321	6	▲ 30	1.0	24	▲ 1
		R5年度	351	280	▲ 71	274	273	1	▲ 78	1.0	77	6
		R3年度	1,020	953	▲ 67	990	942	48	▲ 78	1.0	30	▲ 37
		R4年度	1,040	917	▲ 123	961	910	51	▲ 130	0.9	79	▲ 44
		R5年度	1,040	887	▲ 153	906	877	29	▲ 163	1.0	134	▲ 19

市全体

認定区分		年度	定員 A	受入枠 B	定員比較 B-A	申込数 C	利用児童 D	保留児童 E	定員割れ D-A	利用 決定率 D/C	定員の 過不足 A-C	枠の 過不足 B-C
2号	3歳～ 5歳	R3年度	5,134	5,013	▲ 121	5,090	5,000	90	▲ 134	1.0	44	▲ 77
		R4年度	5,283	4,934	▲ 96	5,009	4,924	85	▲ 101	1.0	11	▲ 85
		R5年度	5,371	5,062	▲ 309	5,158	5,054	104	▲ 317	1.0	213	▲ 96
3号	0歳	R3年度	917	874	▲ 43	1,367	865	502	▲ 52	0.6	▲ 450	▲ 493
		R4年度	921	889	▲ 32	1,397	887	510	▲ 34	0.6	▲ 476	▲ 508
		R5年度	926	890	▲ 36	1,264	886	378	▲ 40	1	▲ 338	▲ 374
	1・2歳	R3年度	3,113	3,193	80	3,418	3,165	253	52	0.9	▲ 305	▲ 225
		R4年度	3,130	3,127	▲ 3	3,332	3,134	198	4	0.9	▲ 202	▲ 205
		R5年度	3,212	3,003	▲ 209	3,144	2,986	158	▲ 226	0.9	68	▲ 141
		R3年度	9,164	9,080	▲ 84	9,875	9,030	845	▲ 134	0.9	▲ 711	▲ 795
		R4年度	9,334	8,950	▲ 384	9,738	8,945	793	▲ 389	0.9	▲ 404	▲ 788
		R5年度	9,509	8,955	▲ 554	9,566	8,926	640	▲ 583	0.9	▲ 57	▲ 611

令和5年度地域子ども・子育て支援事業実施状況

資料 3-1-4

N O.	1							
法律上の事業名	妊婦健康診査事業							
市の事業名	妊婦健康診査事業							
担当課	こども子育てサポートセンター							
事業概要	<p>妊婦の健康の保持増進を図り、安全・安心な妊娠・出産に資するために適切な健診を行う。 【内容】全妊婦14回 実施体制：福岡県・佐賀県・大分県医師会に所属する医療機関及び福岡県内の指定助産所上記以外の医療機関等で受診した場合は払い戻し制度あり。 検査項目：厚生労働省が示す健診実施基準に準ずる。</p>							
設定区域	市内全域							
確保方策の単位	受診回数（年間）							
R5年度実績	（単位：人・回）							
			R1	R2	R3	R4	R5	
			実績	実績	実績	実績	計画	
	量の見込み	妊娠届出数	2,613	2,459	2,380	2,208	2,219	
	健診回数	32,173	29,968	29,279	27,365	26,628	27,108	
	対応策	健診回数	32,173	29,968	29,279	27,365	26,628	27,108
R5年度実施状況	福岡県医師会、佐賀県医師会、大分県医師会、福岡県助産師会に委託し、個別方式で実施。里帰りでは委託先医師会等の範囲外の場合には償還払いを実施した。母子健康手帳交付時に、健診の必要性や制度の周知を図り、健診の受診率向上に努めた。							
R5年度実績評価	・福岡県だけでなく、近隣の佐賀県・大分県と契約締結しており、この外の県での里帰り出産には償還払いを行うなど、受診ニーズに対応できる体制確保を行っており、受診率は例年とほぼ横ばいの99.8%となった。							
R5年度取組の計画進捗に対する評価	例年と同様の受診率となり、受診者のニーズに対応できた。							
直近の決算額と予算額	R5年度決算額： 226,162 千円			R6年度予算額： 230,777 千円				
R6年度取組内容	引き続き受診しやすい健診体制を確保し、受診率の維持に努める。							
R6年度量の見込み及び対応策	（単位：人・回）							
			R6					
			計画					
	量の見込み	妊娠届出数	2,340					
	健診回数	28,080						
	対応策	健診回数 28,080						

NO.	2							
法律上の事業名	乳児家庭全戸訪問事業							
市の事業名	新生児及び妊産婦訪問指導事業							
担当課	こども子育てサポートセンター							
事業概要	乳児の発育・発達状況の確認、保護者の健康、育児相談、及び乳児家庭の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成を図ることを目的として、保健師または保育士等が生後4か月までの乳児がいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、健診や予防接種を含む子育て支援に関する情報提供を行うとともに、母子の心身の状況や養育環境等の把握及び助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供につなげる。							
設定区域	市内全域							
確保方策の単位	訪問指導件数（年間）							
R5年度実績	（単位：人）							
			R1	R2	R3	R4	R5	
			実績	実績	実績	実績	計画	
	量の見込み	訪問対象児童	2,594	2,481	2,354	2,289	2,237	2,198
		訪問率	0.98	0.88	0.96	0.98	1.00	0.98
訪問件数		2,530	2,191	2,257	2,240	2,237	2,172	
対応策	訪問件数	2,530	2,191	2,257	2,240	2,237	2,172	
	※里帰り出産による他市町村対応分含む							
R5年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師、助産師が訪問。母子の健全な発育発達を支援すると共に虐待予防や虐待の早期発見に努めた。 ※R5年度訪問率・・・98.8% 							
R5年度実績評価	<ul style="list-style-type: none"> ・DV相談、きょうだい児の発達相談など、必要なサービスや関係機関につなぐ等の支援をおこなった。 ・R3年度より、訪問等を通じて育児用品を配布し、保護者が支援を受け入れやすくする取組を開始。また、令和5年2月からは出産・子育て応援事業も活用しながら全戸訪問を目指している。これらの取組により、訪問受け入れが困難なケースが訪問につながる成果もみられた。 							
R5年度取組の計画進捗に対する評価	ほぼ計画通りに対応できた。育児不安などの保護者の抱えるニーズに対しては、多職種で連携して取り組むことができた。							
直近の決算額と予算額	R5年度決算額： 6,933 千円			R6年度予算額： 8,109 千円				
R6年度取組内容	引き続き全戸訪問をめざし、新生児・妊産婦訪問とこんにちは赤ちゃん訪問を一体的に実施していく。 また、こんにちは赤ちゃん訪問の主任児童委員との同行校区が前年度より増加しており、今後地域連携についても進めていく。							
R6年度量の見込み及び対応策	（単位：人）							
			R6					
			計画					
	量の見込み	訪問対象児童	2,359					
		訪問率	1.00					
訪問件数		2,359						
対応策	訪問件数	2,359						
	※里帰り出産による他市町村対応分含む							

NO.	3						
法律上の事業名	地域子育て支援拠点事業						
市の事業名	地域子育て支援センター事業、地域子育て促進事業、つどいの広場事業、児童センター運営事業						
担当課	こども子育てサポートセンター						
事業概要	<p>地域において子育て親子の交流等を促進し、子育てについての相談、情報の提供、助言等を実施することで子育ての不安感等を緩和し、すべての子どもの健やかな育ちを地域で支える取り組みを行う。</p> <p>久留米市では、①地域子育て支援センター事業、②地域子育て促進事業（くるるん）、③大学と連携したつどいの広場事業、④児童センター事業を行っている。</p> <p>※①～③は未就学児、④は18歳以下を対象</p>						
設定区域	市内全域						
確保方策の単位	利用延べ人数（月間）						
R5年度実績	（単位：人/月）						
		R1	R2	R3	R4	R5	
		実績	実績	実績	実績	計画	実績
	量の見込み	12,425	5,807	5,088	7,589	10,900	9,270
対応策	か所数	12	12	12	12	12	12
	確保量	12,425	5,807	5,088	7,589	10,900	9,270
R5年度実施状況	<p>地域子育て支援センター9箇所、子育て交流プラザ1箇所、児童センター1箇所、つどいの広場1箇所の計12箇所で、地域子育て支援拠点事業を実施。親子の交流を促すひろば・サロンを実施し、子育て相談を受けたり、情報の提供等を行った。</p>						
R5年度実績評価	<p>R5年度は計画数には及ばなかったものの、新型コロナウイルス感染症が感染法上の第5類に移行になり、利用人数の増加がみられ徐々にコロナ前の水準に回復してきている。</p>						
R5年度取組の計画進捗に対する評価	<p>計画通りのニーズを受け入れることができる体制を確保している。年度途中から新型コロナウイルス感染症対策として実施していた利用者数の制限も解除になり、量の見込みも計画数に近づいてきている。</p>						
直近の決算額と予算額	R5年度決算額： 119,048 千円			R6年度予算額： 132,461 千円			
R6年度取組内容	<p>ホームページや母子手帳交付時など各施設についての情報発信を積極的に行い、子育て家庭の孤立防止等のため更なる利用促進を図る。また、拠点事業者間での情報共有や意見交換を行い、利用者へのきめ細かい対応に努める。</p>						
R6年度量の見込み及び対応策	（単位：人/月）						
		R6					
		計画					
	量の見込み	10,931					
対応策	か所数	12					
	確保量	10,931					

NO.	4					
法律上の事業名	利用者支援事業					
市の事業名	子育て世代包括支援事業					
担当課	こども子育てサポートセンター					
事業概要	<p>安心して子育てができる環境づくりのため、子ども総合相談機能と母子保健等の窓口機能を合わせもつこども子育てサポートセンターを設置するとともに、身近な相談支援の場として地域センターを設置する。</p> <p>その中で、妊娠中や子育て中の方の相談対応のほか、子育て支援サービスの紹介・情報提供、適切な子育て支援サービス・機関へのつなぎなど、一元的できめ細かな利用者支援を行う。</p>					
設定区域	市内全域					
確保方策の単位	実施箇所数					
R5年度実績	(単位：箇所)					
		R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 計画
	量の見込み 対応策	1	1	1	1	6
R5年度実績	1	1	1	1	6	1
R5年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・こども子育てサポートセンターにおいて、母子保健・子育て支援一体型のワンストップ窓口での相談支援を実施。妊娠期から出産・子育てまで切れ目のない支援体制を構築した。 ・延べ相談件数 1,521件／年 					
R5年度実績評価	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て交流プラザくるるんでの出張相談会、こども子育てサポートセンターや保健センターでの支援プラン活用などによる寄り添った支援を、これまでどおり実施することにより、利用者ニーズに合わせた支援が実施出来ている。延べ相談件数としては前年度と比較して、1割強程度減少している。 					
R5年度取組の計画進捗に対する評価	<p>厳しい財政状況の中で新たな施設の設置が難しく、市政運営方針との整合性を図りながら、設置に向けた検討を進めた。出張相談窓口を設けたり、相談員が個別訪問することなどで、身近な場所での相談支援に取り組んだ。</p>					
直近の決算額と予算額	R5年度決算額： 880 千円		R6年度予算額： 1,936 千円			
R6年度取組内容	<p>中央センターにおける相談対応および子育て交流プラザくるるんにおける出張相談会を実施するとともに、地域センター設置に向けた検討を継続する。</p>					
R6年度量の見込み及び対応策	(単位：箇所)					
		R6 計画				
	量の見込み 対応策	6				
R6年度	6					

NO.	5-1							
法律上の事業名	養育支援訪問事業、子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業							
市の事業名	エンゼル支援訪問事業							
担当課	こども子育てサポートセンター							
事業概要	妊娠期から出産後間もない時期（概ね半年程度）の育児に関する不安や負担感を緩和し、育児困難家庭の諸問題を解決するため、産前・産後ヘルパーによる育児や家事の援助を行う。							
設定区域	市内全域							
確保方策の単位	利用回数							
R5年度実績	（単位：人回）							
			R1	R2	R3	R4	R5	
			実績	実績	実績	実績	計画	実績
	量の見込み	利用（実施）回数	1,991	1,421	1,912	1,729	1,850	1,735
対応策	利用（実施）回数	1,991	1,421	1,912	1,729	1,850	1,735	
R5年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・産前産後間もない家事や育児が困難な家庭に、エンゼル応援隊（産前産後ヘルパー）を派遣し、家事や育児の支援を行った。 ・R5年度は利用回数が前年とほぼ横ばいだが、支援が必要な家庭への訪問支援ができた ・延べヘルパー派遣登録世帯数 941世帯 ・延べヘルパー派遣時間数 4,801時間 ・延べヘルパー登録人数 17名 							
R5年度実績評価	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度はR4年度と同等の利用で、計画をやや下回る利用となった。新型コロナウイルス感染症の5類移行により、利用が平準化してきたと考えられる。 ・保健師による産前産後ケアの研修を行いヘルパーのスキルアップを図った。 							
R5年度取組の計画進捗に対する評価	R3年度に比べ利用者数が減少し、新型コロナウイルス感染症の影響で計画をやや下回っている。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、家族などから支援を得られない子育て中の家庭への支援となっている。							
直近の決算額と予算額	R5年度決算額： 6,250 千円			R6年度予算額： 9,516 千円				
R6年度取組内容	ハイリスク家庭への訪問などのケースも増えていることから、研修の実施によりヘルパーのスキルアップや関係機関との連携強化を図る。							
R6年度量の見込み及び対応策	（単位：人回）							
			R6					
			計画					
	量の見込み	利用（実施）回数	1,950					
対応策	利用（実施）回数	1,950						

NO.	5-2						
法律上の事業名	養育支援訪問事業、子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業						
市の事業名	養育環境改善家事援助事業（R6～家事・育児訪問支援事業）						
担当課	家庭子ども相談課						
事業概要	子どもの養育環境が不適切な家庭に対し、家事援助者および相談支援者を派遣し、家事・育児援助、助言等の必要な支援を行うことにより、養育環境の維持・改善、家庭の養育力及び児童自身の生活能力の向上を図る。						
設定区域	市内全域						
確保方策の単位	派遣実施件数						
R5年度実績	(単位：件)						
			R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 計画
	量の見込み 対応策	実施件数	102	116	230	145	328
			102	116	230	145	328
R5年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度までは、家事等が困難で児童虐待のおそれを抱える家庭への家事支援を中心に実施してきた。令和5年度からは、ヤングケアラーを含む幅広い子育て世帯へと事業の対象者を拡大し、家事支援に加え、相談支援のニーズに対応できるよう支援内容及び委託先を見直した。 12世帯の家庭に対して合計328回派遣し、住居の掃除・調理等の家事支援及び児童の発達保障等のための相談支援を実施し、支援対象家庭における安定した児童の養育環境の確保を図った。 						
R5年度実績評価	<ul style="list-style-type: none"> 前年度と比較すると、派遣世帯数は2件減少したものの、同一世帯への長期派遣もあり派遣回数328回（621時間）と大きく増加した。 一部の支援対象家庭では、家事援助者の助言のもと、児童本人も一緒に掃除を行うなどして生活能力の向上につながった事例や、乳幼児の安全な環境を整備し安定的に登園できるようになった事例があった。 						
R5年度取組の計画進捗に対する評価	支援対象世帯の状況に則して、家事支援又は相談支援の必要性を検討し、支援者と調整のうえ支援を実施した。						
直近の決算額と予算額	R5年度決算額： 1,585 千円			R6年度予算額： 10,277 千円			
R6年度取組内容	令和5年度までの「養育支援訪問事業」を活用した「養育環境改善家事援助事業」は、令和6年4月児童福祉法改正により、「子育て世帯訪問支援事業」を活用した「家事・育児訪問支援事業」に事業名を変更。併せて所管課を家庭子ども相談課からこども子育てサポートセンターに移管し、支援対象家庭の拡充や事業委託先の見直しを行うこととしている。従前の支援対象家庭への支援は、継続しつつ、より幅広い世帯を対象として、適切な養育環境を確保する取組みを進める。						
R6年度量の見込み及び対応策	(単位：件)						
			R6 計画				
	量の見込み 対応策	実施件数	428		(家庭子ども相談課) 予算内示書より		
			428				
			R6 計画				
量の見込み 対応策	実施件数	510		(こども子育てサポートセンター) 予算内示書より			
			510				

NO.	6							
法律上の事業名	子育て短期支援事業							
市の事業名	子育て短期支援事業							
担当課	家庭子ども相談課							
事業概要	保護者の疾病等により家庭における養育が困難な児童等を児童福祉施設において一定期間養育・保護し、児童および家庭の福祉の向上を図る。							
設定区域	市内全域							
確保方策の単位	年間延べ利用者数（人日）							
R5年度実績	（単位：人日）							
			R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 計画	R5 実績
	量の見込み	利用者数	605	286	268	373	290	331
	対応策	利用者数	605	286	268	373	290	331
R5年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・児童養護施設3箇所（市内1、市外2）および乳児院（市外2）で保護者の疾病、育児疲れ、出産、出張などで家庭での養育が難しい児童の受入れを行った。 ・令和5年7月より児童養護施設1箇所（市外）で親子入所等支援を開始し、保護者のレスパイト・ケア、子どもの養育方法等への支援が必要な親子の受け入れを行った。 ・市の母子生活支援施設1箇所、緊急一時保護の母子の受け入れを行った。 							
R5年度実績評価	・前年度と比較すると利用者数は減っているものの、見込みどおりの推移であった。							
R5年度取組の計画進捗に対する評価	申請事由と相談内容に基づき、必要な家庭への支援を行った。							
直近の決算額と予算額	R5年度決算額： 1,993 千円			R6年度予算額： 3,695 千円				
R6年度取組内容	多様な支援ニーズに対応するため、新たな事業メニューとして、「送迎及び付き添い等支援」を実施する。短期入所生活援助（ショートステイ）、夜間養護等（トワイライトステイ）及び親子入所等支援の事業を利用しようとする家庭に対し居宅等と児童福祉施設間の送迎や通学時等の児童等の付き添いの支援を行う。							
R6年度量の見込み及び対応策	（単位：人日）							
			R6 計画					
	量の見込み	利用者数	290					
	対応策	利用者数	290					

NO.	7							
法律上の事業名	ファミリー・サポート・センター事業 (子育て援助活動支援事業)							
市の事業名	ファミリー・サポート・センター事業(就学児)							
担当課	こども子育てサポートセンター							
事業概要	子どもの預かり等、子育ての援助を受けたい人(おねがい会員)と、子育ての援助を行いたい人(みまもり会員)との相互援助活動に関する連絡、調整をファミリー・サポート・センター事務局が行い、地域における子育ての相互援助活動を推進する。							
設定区域	市内全域							
確保方策の単位	活動件数							
R5年度実績	(単位: 件)							
			R1	R2	R3	R4	R5	
			実績	実績	実績	実績	計画	実績
	量の見込み	活動件数	608	448	304	387	469	524
	対応策	活動件数	608	448	304	387	469	524
	※対象年齢: 小学1~6年生(6~11歳) ※就学前児童の利用件数は「No.8 一時預かり事業(保育所などでの一時保育事業)」に計上							
R5年度実施状況	・みまもり会員養成講座を1回、子育て支援ボランティア養成講座を2回開催。あわせて33名(内6名は両方会員)の登録があった。 ・主任児童委員の会議や子育てマイスター認定研修会、支援団体講座、などで事業説明、回覧板にて講座の周知を行い、会員の拡大の周知に努めた。 <<会員の状況(R5年度末)>> ・おねがい会員 1,285人 ・みまもり会員 497人 ・どっちも会員 84人							
R5年度実績評価	・おねがい会員数は大幅な増減はなく、未就学児を含めた利用者のニーズは前年度と比べ増えている。このため、活動件数が、計画よりも上回る事となっている。 ・みまもり会員が少ないため、対応できていない地域がある状況は、R5年度においても引き続き生じている。							
R5年度取組の計画進捗に対する評価	おねがい会員のニーズの変化はあるが、活動件数も増えており就学児の活動件数も増えている。みまもり会員の少ない地域では活動の調整に苦慮するなど、みまもり会員の確保は引き続きの課題である。							
直近の決算額と予算額	R5年度決算額: 14,846 千円			R6年度予算額: 17,230 千円				
R6年度取組内容	県の子育て支援員養成講座受講者へみまもり会員の募集周知・啓発を行うとともに、会員養成講座を開催するなど、実施体制の確保に努める。養成講座の情報等はSNSを通じた発信に努める。							
R6年度量の見込み及び対応策	(単位: 件)							
			R6					
			計画					
	量の見込み	活動件数	524					
	対応策	活動件数	524					

NO.	8-2							
法律上の事業名	一時預かり事業							
市の事業名	一時預かり事業（幼稚園型）							
担当課	子ども保育課							
事業概要	幼稚園を利用する保護者の多様な保育ニーズに対応するため、通常の教育時間の前後や、土曜日、長期休業日に希望する在園児を預かる事業							
設定区域	教育・保育提供区域と同じ7区域							
確保方策の単位	利用者の延べ人数							
R5年度実績	(単位：人日)							
			R1	R2	R3	R4	R5	
			実績	実績	実績	実績	計画	実績
	区域1 (東部)	量の見込み	4,920	8,657	6,204	4,974	6,359	8,628
		対応策	4,920	8,657	6,204	4,974	6,359	8,628
	区域2 (北部)	量の見込み	16,242	18,802	13,390	11,532	7,441	14,141
		対応策	16,242	18,802	13,390	11,532	7,441	14,141
	区域3 (中央部)	量の見込み	136,206	38,324	35,962	48,797	47,353	42,585
		対応策	136,206	38,324	35,962	48,797	47,353	42,585
	区域4 (中央東部)	量の見込み		25,676	26,329	23,615	25,029	18,581
		対応策		25,676	26,329	23,615	25,029	18,581
	区域5 (中央南部)	量の見込み	(上記「区域3 (中央部)」 に含む)	9,139	11,226	11,248	10,508	5,771
		対応策		9,139	11,226	11,248	10,508	5,771
	区域6 (中央西部)	量の見込み		53,419	51,542	47,512	37,161	52,414
		対応策		53,419	51,542	47,512	37,161	52,414
区域7 (南西部)	量の見込み		8,367	7,259	7,023	6,665	7,417	
	対応策		8,367	7,259	7,023	6,665	7,417	
合計	量の見込み		165,735	161,276	151,676	139,488	149,537	
	対応策		165,735	161,276	151,676	139,488	149,537	
R5年度実施状況	◇預かり保育事業（認定こども園・幼稚園） 市内認定こども園等35か所で、教育認定子ども又は幼稚園在園児の通常保育時間外及び長期休業期間中の預かりを実施。							
R5年度実績評価	・一部区では、1号認定こどもが減少したため、実績が計画を下回った。その他の区域では、実績が計画を上回ったが、ニーズ量に対応した体制は確保しており、保育の必要がある児童の受け皿としての役割に貢献する等、保護者の多様な保育ニーズに対応した。							
R5年度取組の計画進捗に対する評価	区域3、4、5では実績が計画を下回った。その他の区域で実績が計画を上回っているものの、ニーズ量に対応した体制を確保することができた。							
直近の決算額と予算額	R5年度決算額：		-	千円	R6年度予算額：		-	千円
R6年度取組内容	認定こども園等における預かり保育のニーズに応じ、引き続き実施体制の確保に努めるとともに、幼稚園型一時預かり事業（新制度）への移行にあたっては適切な情報提供を行う。							
R6年度 量の見込み 及び 対応策	(単位：人日)							
			R6					
			計画					
	区域1 (東部)	量の見込み	6,043					
		対応策	6,043					
	区域2 (北部)	量の見込み	7,080					
		対応策	7,080					
	区域3 (中央部)	量の見込み	46,045					
		対応策	46,045					
	区域4 (中央東部)	量の見込み	23,857					
		対応策	23,857					
	区域5 (中央南部)	量の見込み	9,831					
		対応策	9,831					
	区域6 (中央西部)	量の見込み	36,394					
		対応策	36,394					
区域7 (南西部)	量の見込み	5,412						
	対応策	5,412						
合計	量の見込み	134,662						
	対応策	134,662						

NO.	9							
法律上の事業名	延長保育事業							
市の事業名	延長保育事業							
担当課	子ども保育課							
事業概要	保護者の就労形態の多様化や通勤時間の長時間化等により通常開所時間（11時間）の前後に保護者のニーズに対応するため延長保育を実施している。							
設定区域	教育・保育提供区域と同じ7区域							
確保方策の単位	利用者実人数							
R5年度実績	(単位：人)							
			R1	R2	R3	R4	R5	
			実績	実績	実績	実績	計画	実績
	区域1 (東部)	量の見込み	319	225	275	275	334	262
		対応策	319	225	275	275	334	262
	区域2 (北部)	量の見込み	134	334	320	265	290	455
		対応策	134	334	320	265	290	455
	区域3 (中央部)	量の見込み	2,539	765	711	758	786	701
		対応策	2,539	765	711	758	786	701
	区域4 (中央東部)	量の見込み		449	313	336	360	310
		対応策		449	313	336	360	310
	区域5 (中央南部)	量の見込み		283	204	225	215	263
		対応策		283	204	225	215	263
	区域6 (中央西部)	量の見込み		572	512	487	467	502
		対応策		572	512	487	467	502
	区域7 (南西部)	量の見込み	339	330	427	295	275	268
	対応策	339	330	427	295	275	268	
合計	量の見込み	3,331	2,958	2,762	2,641	2,727	2,761	
	対応策	3,331	2,958	2,762	2,641	2,727	2,761	
R5年度実施状況	◇延長保育事業（保育所・認定こども園、事業所内保育事業所・小規模保育事業所）市内保育所等77か所で通常保育時間前後の延長保育を実施							
R5年度実績評価	・一部区域では2号及び3号認定こどもの保育が増加したため、実績が計画を上回ったが、ニーズ量に対応した体制は確保することができた。							
R5年度取組の計画進捗に対する評価	区域1、3、4、7では実績が計画を下回った。その他の区域で実績が計画を上回っているものの、ニーズ量に対応した体制を確保することができた。							
直近の決算額と予算額	R5年度決算額： 68,834 千円			R6年度予算額： 104,028 千円				
R6年度取組内容	在園児の増加に伴う利用者増に対応できるよう、引き続き保育士の確保による実施体制の確保に努める。							
R6年度量の見込み及び対応策	(単位：人)							
			R6					
			計画					
	区域1 (東部)	量の見込み	325					
		対応策	325					
	区域2 (北部)	量の見込み	282					
		対応策	282					
	区域3 (中央部)	量の見込み	768					
		対応策	768					
	区域4 (中央東部)	量の見込み	352					
		対応策	352					
	区域5 (中央南部)	量の見込み	198					
		対応策	198					
	区域6 (中央西部)	量の見込み	455					
	対応策	455						
区域7 (南西部)	量の見込み	268						
	対応策	268						
合計	量の見込み	2,648						
	対応策	2,648						

NO.	10						
法律上の事業名	病児保育事業						
市の事業名	病児保育事業						
担当課	子ども政策課						
事業概要	児童等が病気または病気回復期のため、入院治療の必要はないが安静の確保に配慮する必要がある、集団での保育が困難な時期に保育所等にかわって、一時的に当該児童を預かる事業。						
設定区域	市内全域						
確保方策の単位	延べ人数						
R5年度実績	(単位：人)						
		R1	R2	R3	R4	R5	
		実績	実績	実績	実績	計画	実績
量の見込み	利用人数	3,283	1,694	2,814	2,824	3,345	4,400
対応策	利用人数	7,255	9,884	12,904	14,432	15,900	13,642
	<p>※量の見込み実績：施設の年間延利用者数 ※対応策実績：(施設の利用定員) × (施設の開所日数) =年間受入可能数</p>						
R5年度実施状況	<p>市内10か所の病院または診療所に付設された施設及び、企業主導型保育施設において、病児保育事業を実施。</p> <p>○定員 【病院または診療所付設の施設】 ・マリアン・キッズ・ハウス（聖マリア病院）：6人 ・エンゼルキッズ（久留米大学医療センター）：4人 ・ハイジア病児保育室（ハイジア内科）：6人 ・たのっしーランド（田主丸中央病院）：4人 【企業主導型保育施設】 ・のぞえの森保育園：6人 ・丸信インターナショナル保育園「Smilebasket」：6人 ・クルメキッズランド：3人 ・つぶくいちご保育園：2人 ・coconomi保育園：6人 ・久留米大学みどりの杜保育園病児・病後児保育施設「すくすくランド」：8人（R4.10月事業開始） ※天神キッズ保育園はR4年度末（R5.3.31）をもって事業廃止</p>						
R5年度実績評価	<p>・たのっしーランドはR5.7月豪雨災害の影響により、7・8月の開所日数が減少している。対応策実績は前年度より減少したが、ニーズ量に対応した受入れ体制は確保できた。</p>						
R5年度取組の計画進捗に対する評価	<p>市内10か所の病院または診療所に付設された施設及び、企業主導型保育施設において総定員51人（R6.3月時点）で対応しており、受入れ定員は前年比で減となった。新型コロナの5類移行もあり、利用実績は計画値より増となっている。感染症流行等（インフルエンザ、RSウイルス、ノロウイルス等）の時期によっては定員を超える利用希望がある。</p>						
直近の決算額と予算額	R5年度決算額： 78,881 千円			R6年度予算額： 65,474 千円			
R6年度取組内容	<p>感染症流行時期などの利用状況や、キャンセル待ちの状況を踏まえて今後の対応を検討していく。</p>						
R6年度量の見込み及び対応策	(単位：人)						
		R6					
		計画					
量の見込み	利用人数	3,273					
対応策	利用人数	15,900					

NO.	11							
法律上の事業名	放課後児童クラブ (放課後児童健全育成事業)							
市の事業名	学童保育所整備・運営事業							
担当課	子ども政策課							
事業概要	保護者が労働等により、昼間家庭にいない小学生を対象に、学童保育所において、支援員により適切な遊び及び生活の場を提供する。							
設定区域	市内全域							
確保方策の単位	利用者実人数 (基準日：各年5月1日)							
R5年度実績	(単位：人)							
			R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 計画 実績	
	量の見込み	低学年	4,171	4,137	3,998	4,090	4,146	3,976
		高学年	357	389	389	402	628	285
		合計	4,528	4,526	4,387	4,492	4,774	4,261
	対応策	4,528	4,091	4,328	4,368	4,368	3,940	
<p>《参考》R6年度当初定員数：3,910人 (専用施設定員：3,825人)</p>								
R5年度実施状況	<p>市内27校区で高学年の受入を実施し、285名の児童が入所した。 《参考》R2：31校区、389名、R3：35校区、390名、R4：31校区、402名</p> <p>定員超過校区である4校区において学校施設を活用した保育を実施するなど、学童保育所の保育環境改善を図った。 《参考》R1：3校区、R2：5校区、R3：6校区、R4：6校区</p> <p>支援員確保のため、国の制度を活用した支援員の処遇改善、複数回の採用、校区への採用試験の周知などに取り組んだ。</p>							
R5年度実績評価	<p>学校施設活用による定員増を行うとともに、支援員確保のため国の制度を活用した処遇改善に取り組みニーズへの対応を図った。 災害により被災した校区学童の修繕や、小学校を代替施設として活用し、運営を行った。</p>							
R5年度取組の計画進捗に対する評価	<p>施設整備や学校施設の活用に取り組みニーズに対応した。 増加するニーズに対応するため、受入施設や支援員の確保が課題となっている。</p>							
直近の決算額と予算額	R5年度決算額： 606,284 千円			R6年度予算額： 656,043 千円				
R6年度取組内容	<p>近年増加傾向にある入所ニーズに対応するため、教育委員会と連携し、学校施設の活用をすすめるなど、定員超過の解消、高学年受入拡大を図る。 また、支援員の処遇改善や募集の工夫等について学童保育所連合会と連携し、支援員確保の取組を進める。</p>							
R6年度量の見込み及び対応策	(単位：人)							
			R6 計画					
	量の見込み	低学年	4,172					
		高学年	612					
		合計	4,784					
	対応策	4,368						